



新喜多中だより

校長 河本 浩幸



～うちの生徒はみんな新喜多の子～

令和6年5月22日

第6号

『僕には夢がある』

みなさんは元プロ野球選手の松井秀喜さんをご存じですか。私の年代の方なら誰もがその活躍を知っているのではないかと思います。中学生にはあまりなじみのない方かもしれませんね。前回の新喜多中だよりで、北陸へ家族と帰省したことに少し触れましたが、そのときに初めて訪れた場所がありました。それは、石川県にある「松井秀喜ベースボールミュージアム」です。石川県で生まれ育ち、野球と出会った松井少年。野球を通して「夢」を追い続け、高校野球、プロ野球、メジャーリーグなど、様々な場で活躍され、日本のみならず、世界一のプレーヤーとなりました。館内には、日本シリーズやワールドシリーズで MVP に輝いた松井さんのトロフィーやチャンピオンリングなどファンにはたまらない品々が数多く飾られているのですが、私が何よりも感銘を受けたのは、幼いころからこれまでに松井さんが残されてきたメッセージの数々でした。「僕には夢がある」もそのうちのひとつなのですが、中でもとても心に響いたメッセージのひとつを紹介いたします。

なぜいじめが起きるのだろう。ボクも小学生のころ、むしゃくしゃして、人に当たり散らそうと思ったことがあった。

でもそんなことは言えなかったし、できなかった。

相手の気持ちを考えたとき、どれだけ傷つくだろうと思ったからだ。

今、この世の中のいじめがなくならないのは、たぶんいじめをすることによって、自分の存在価値を示したり、いじめが自分の欲求を満たすものだと勝手に思い込んでいる人がいるからだと思う。

(中略)

人は夢をもっていると思う。若ければ若いほど、夢をたくさんもっていると思う。

ボクの夢は野球そのものだったし、甲子園に出場することが夢だった。

いじめることが夢なんて一人もないはず。

かなう夢、かなわない夢があると思うけれど、いじめは自分の夢の遠回りになっている。

いじめをやめること、夢をかなえること、どちらもチャレンジだ。

ボクも夢に向かってチャレンジする。みんなも夢に向かってチャレンジしよう。

松井 秀喜

「夢」を追い続けることの大切さをおっしゃられていますね。みなさんの「夢」はどんなことでしょうか。「夢」の実現にはどんな方々からの支えがありますか。あらゆる人や物に感謝の気持ちをもって一生懸命に努力すれば、周りのみんなは応援してくれますよ。みなさんには無駄な遠回りはさせたくありません。さあ、勇気をもってチャレンジしましょう。

こちらには他の松井さんのメッセージが紹介されていますので、ぜひご覧になってくださいね。

*「松井秀喜の言葉」 <https://www.hideki.co.jp/saying>

●3年生、沖縄修学旅行

5月15日から2泊3日で3年生は沖縄へ修学旅行に行ってきました。出発の日の朝はとても早かったのですが、たくさんの保護者の皆様に見送っていただき、ありがとうございました。飛行機で離陸の瞬間はみんなドキドキしながらも、無事に沖縄へ到着。沖縄の青空の下で昼食をおいしくいただいた後は、平和祈念公園で平和セレモニーを行いました。78期生の平和への思いが詰まった「平和宣言」を行

い、新喜多中学校の全生徒で作った千羽鶴を奉納しました。その後は糸数豪へ移動して防空壕の見学を行い、改めて戦場の悲惨さを感じまし

た。ホテルに移動しての夕食は海を眺めてのBBQ。「食べ放題」と言われるとテンションは最高潮。みんなで協力しながら焼いて食べたお肉や焼きそばは格別でした。

2日目は楽しみにしていたマリン体験。気持ちのいいビーチで走り回ってはしゃぐ子、ビショビショになりながら水のかけ合いをする子、のんびりと海を眺める子など、それぞれが楽しい時間を過ごしていました。特にバナナボートではビーチに響き渡るくらいの絶叫をあげ、大興奮でした。午後からはそれぞれ民家へ分かれての民泊体験。大宜味村の皆さんはとてもやさしく気さくで、大阪では味わえないような素敵な体験をさせていただきました。

3日目の朝、退村式を行い、大宜味村の方々とお別れをした後、グループに分かれてタクシープランへと出発しました。水族館や国際通りなどを回り、たくさんお土産を買うことができて、集合した時にはなぜか面白いサングラスやお面をつけている子でいっぱいでした。西堤神社への到着はとても遅い時間になりましたが、たくさんの保護者や先生に出迎えてもらい、子どもたちも安心した様子でした。3日間とも雨の心配はなく、絶好の天気でした。そして、大きく体調を崩す子もなく、大きなトラブルもなく修学旅行を終えたことが、何よりも良かったです。話を聞くとときはしっかり聞き、楽しむときはいっぱい楽しみ、いつも笑顔の78期生。新たな素晴らしい発見もたくさんありました。この成功をさらに次のステージへとつなげてもらえれば幸いです。

平和宣言

私たちは平和学習を通して、今の日常のありがたみを改めて感じました。

79年前の戦争で、幾多もの砲弾がたくさんの命を奪い、多くの人々の夢や希望が薄く消えていきました。そんな過去を繰り返してはいけません。また、こうしている今も世界には紛争により、苦しみや悲しみがあふれています。

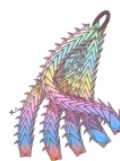
友だちと遊び、たわいもないことを語り合い、時にはけんかをし、泣いたり笑ったり・・・そんな当たり前の幸せが私たちにとっての日常であり、平和なのだと思いました。

この日常が続くように、周りの人を思いやること、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることを心がけて、これから生きていくことをここに宣言します。

そして、平和を願い、笑顔と優しさであふれる、誰もが平等な世界であるように祈っています。

令和6年 5月15日

東大阪市立新喜多中学校78期生一同



右側に載せているのは新喜多中学校ホームページのQRコードです。多くの方々にご覧になっていただいているおかげで、なんと閲覧数が10万人を超えました。

「ニュース」や「新喜多中だより」など、学校や子どもたちの様子をお伝えできるように引き続きアップしていきますので、こちらも楽しみください。

